

“優しく、強く、愛しい人”の育成

～ 令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果から ～

小学校版

本年4月23日に6年生が実施した「全国学力・学習状況調査」について、全国や静岡県の調査結果が新聞等に掲載されました。文部科学省から届いた焼津市の調査結果を分析しましたので、その概要をお知らせします。



まずは、「**焼津市教育大綱**」に関する児童への質問事項の結果から報告します。

6年生は、入学以来、昨年度まで前教育大綱の基で、これからの時代をたくましく、しなやかに生き、自分自身の人生を輝かせていくため、「優しさと強さを兼ね備えた愛しい人」へと成長することを目標として、学校生活を送ってきました。そして、今年度からはこれまでの理念「**優しく、強く、愛しい人の育成**」を引き継いだ、新たな教育大綱が施行されています。

「優しさ」と「強さ」を兼ね備えた「愛しい」人に……

- つまづいても、失敗しても、あるいは壁にぶつかっても、負けないで粘り強く前に進もうとする「たくましい強さ」を持った人。
- 時代の変化に対応できる柔軟さ、あるいは苦しい体験や辛い思いをしたときに折れることなく、それらを良い経験としてポジティブに受け止めるなどの「柔軟な強さ」を持った人。
- 他者の立場を理解し認め、他者の考えを受け入れる「優しさ」を持った人。他者との協調や協働を大切にし、「和の心」を持った人。
- 人から愛され、信頼される「愛しい人」。

子供たち一人一人が「優しく、強く、愛しい人」に育っていくためには、つまずきや失敗、試行錯誤する経験がとても大切です。思い通りにならなくても、そこで諦めるのではなく、繰り返し挑戦する経験を重ねる中で、真の強さや優しさを身に付けていきます。

下の表は、児童質問調査の中で「教育大綱」に示された理念等に関わる質問事項の令和3年度から今年度（8年度）までの6年間の結果を示しています。多くの項目で高い数値を示し、個々の項目を見ても、概ね少しずつ伸びていることが分かります。

No.	学習状況調査(児童質問調査)の「教育大綱に」かかわる質問事項	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
①	自分には、よいところがあると思いますか	75.8	80.1	83.9	83.0	85.4	85.8
②	将来の夢や目標を持っていますか	76.4	79.2	79.2	82.3	81.7	79.4
③	人が困っているときは、進んで助けていますか	89.8	88.8	93.7	92.9	92.8	94.0
④	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.9	93.9	96.3	96.4	95.7	96.2
⑤	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	70.3	73.8	78.4	79.1	78.4	80.5
⑥	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか			90.9	91.8	93.1	92.5
⑦	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	73.0	72.1	75.7	82.7	79.9	82.0

これらの結果から、これまで各学校において、授業はもちろん全ての教育活動で「失敗や間違いを恐れない子、疑問を言える子の育成」を念頭に、子供主体の教育活動を推進してきたことが、この結果につながってきていると思われます。

■■ 国語・算数の学習について ■■

【国語】学習の積み重ねが成果として出ています！

国語の学力調査は、全国、県と同程度の平均正答率でした。その中で、焼津市の児童の強みとこれからの目標は次のとおりです。

【ここが強みです！】

問題解決に向けて、自分の考えをもつことができています。日々の授業の中で、「自分はどうか考えるか」を大切にしながら、仲間と関わり合って学習を行っている成果が出ています。文章構成や文章の種類、特徴を理解することもできています。低学年からの学習の積み重ねが、文章構造の理解につながっています。

【これからの目標：自分の考えを支える根拠や情報を明確にしながらまとめる力を育みます】

調査では、「情報の扱い方に関する事項」に課題が見られました。今後は、目的に応じて情報を見付け出したり、いくつかの情報を結び付けたりしながら考え、根拠を明確にして考えをまとめる経験を、授業の中でより一層大切にしていきます。



【算数】算数で学習した内容が生活の中で活用できています！

算数の学力調査は、全国、県と同程度の平均正答率でした。児童質問調査の「算数の勉強が好きですか」という質問に対し、肯定的に回答した子供が、全国を 3.2P 上回りました。「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか」という質問に対しても、肯定的な回答をした子供が、全国を 4.3P 上回りました。これからの授業でも、日常の場面とのつながりを意識した問題を取り扱うよう工夫していきます。

【ここが強みです！】

「思考・判断・表現」に関する問題の正答率が、全国を 2.5P 上回りました。自分の考えを言葉や文章で説明すること、「なぜそう思うか」を筋道立てて分かりやすく伝える力が付いてきたと考えられます。

【これからの目標：自分が解決したいと思う問題を筋道立てて考える力を育みます】

子供の疑問や間違い等を大切にするこれまでの授業を継続し、これからの授業では、日常のさまざまな場面から生じる子供が解決したいと思う問題を取り扱い、子供が数や割合の關係に着目し、図や絵、表などに表して筋道立てて考えるよう指導していきます。



□□ 家庭・学校・地域…安定した生活の様子がうかがえます □□

1 家庭生活

「朝食を毎日食べている」子供は 94.5%、「毎日同じくらいの時間に起きる」子供は 90.7%で、焼津市の多くの子供は、基本的な生活習慣が身に付いていると言えます。

また、普段（月～金）の過ごし方に関わって、「1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか」の質問に、30分以上と答えた子供が 86.1%（全国比+7.1P）で、平日の家庭学習が定着している様子がうかがえました。一方で、読書に親しんだり、新聞を読んだりする習慣が身に付いている子供は少なく、平日1日当たりのスマートフォン等でのSNSや動画の視聴時間が2時間以上という子供が6割に上っています。

2 学校生活

「学校に行くのが楽しい」は 86.4%、「友達関係に満足している」は 90.8%と、多くの子供たちが安定した気持ちで学校生活を送っていることが分かります。

また、「困りごとや不安がある時、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」で肯定的に回答した子供も、全国比+3.2P でした。今後も、子供一人一人を大切にしたい声かけや支援に努めていきます。



3 社会（地域）生活

「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」に 78.6%の子供が、肯定的な回答をしています。

学校の授業では、子供たちが地域への関心を高めることができるように、地域にある「学習に生かせる場所や物」、「地域で起きている問題や出来事」などを学習の題材として取り扱ったり、地域で活動されている方々を講師として迎えたりしています。また子供たちには、地域での活動に積極的に挑戦するよう勧めています。

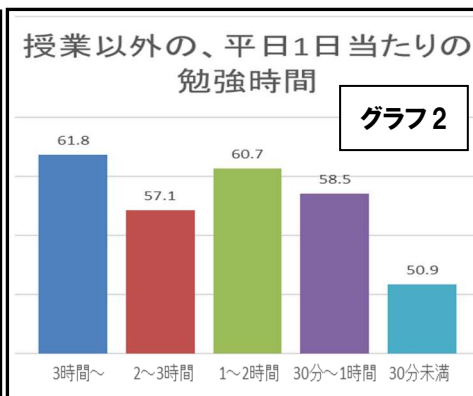
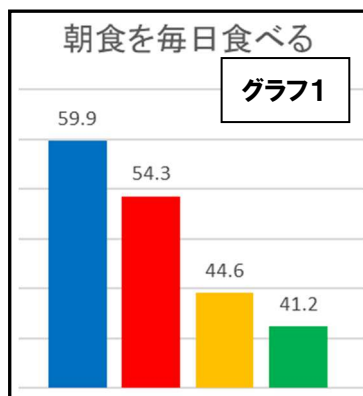
子供にとって、学校だけでなく家庭や地域社会で多くの人と交流し様々な考えに触れることは、思考を広げることに繋がり、成長していく上でとても大切なことです。学校と家庭、地域とが一体となって、子供たちの豊かな学びの場を創出していきましょう。

□■□ 確かな学力を身に付けるために必要なことは… □■□

- 以下の棒グラフに示す数値は、国語と算数の2教科の正答率(%)の平均です。
○ 棒グラフは左から順に以下のとおりの選択肢順に並んでいます。(グラフ2を除きます。)
・当てはまる ・どちらかと言えば当てはまる ・どちらかと言えば当てはまらない ・当てはまらない

1 生活習慣（自分で調整）

毎年度、同様の結果が出ていますが、グラフ1「朝食を毎日食べる」、「毎日、同じくらいの時刻に寝る(起きる)」などの基本的な生活習慣が身に付いている子供は、学習内容がきちんと定着していることが、今年度の結果からも明らかになっています。



このことについては、「どちらかと言えば当てはまる」54.3%と「どちらかと言えば当てはまらない」44.6%で、約 10P もの差があり、確かな学力を身に付けるために非常に重要であることが分かります。

また、グラフ2「授業以外の、平日1日当たりの勉強時間」では、「30分~1時間」と「30分未満」で、大きな差が見られました。一方、グラフから勉強時間が長いほど正答率が高いというわけではないことが分かります。最も大切なことは、自分に必要な学習を自分で考え、自分で学習方法や内容を選択して取り組むことです。このことは、「主体的に学習を調整できている」と考えている子供の方が、国語、算数共に正答率が高いことから分かります。ご家庭でも、お子さんが、自分で考え、行動する姿を応援していきましょう。

2 主体的に学ぶ態度や姿勢

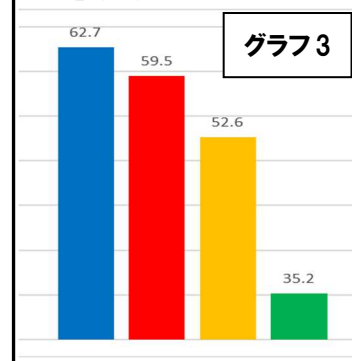
「主体的」とは、自分で何をするか決め、自ら取り組む態度や姿勢のことです。主体的に学習に取り組んでいる子供は、学習内容がきちんと身に付いています。

「授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」について「当てはまる」とした子供の正答率は「当てはまらない」とした子供に比べ 13.4P 上回っています。

また、グラフ3「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫する」では、「当てはまる」と答えた子供の正答率は、「当てはまらない」と答えた子供に比べ、27.5P もの差が見られました。

自分の興味・関心をもとに、気になることや課題を見付け、自分の考えた方法で追究していく。学校では、そんな子供の学びを応援し、支えています。

分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫する

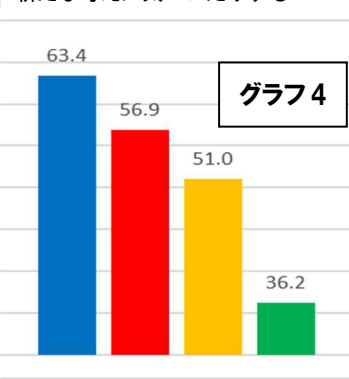


3 仲間との対話（協働）

グラフ4「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりする」という質問では、「当てはまる」と回答した子供と「当てはまらない」と回答した子供で、正答率に 27.2P もの差がありました。また、「友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」も、18.0P と大きな差がありました。他者との対話を通じ、協働的に課題解決をする経験は、学力の定着だけでなく、健全な成長に大きく寄与します。

学校では、仲間と一緒に考えたり活動したりすることで課題の解決に向かう学習活動を大切に授業を行っています。

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりする



□■□ 本年度 焼津市教育の重点「和のある集団の創造」 □■□

焼津市では、本年度の教育の重点を「和のある集団の創造」とし、各学校で指導に当たっています。児童が友達と協力し、高め合う「和のある集団」を創造することは、学校が安心できる居場所となるだけでなく、児童が成長する上で欠かせないと考えています。

自分とは異なる考えに触れ、多様な考えを尊重する中で、課題解決に取り組むことは、これからの社会を生きる上で重要な力となり、結果として学力の向上にも結びつきます。

今後も、学校では、自分の考えに他者の考えを重ね合わせ、課題を解決したり新たな考えを生み出したりする活動を大切に、授業をはじめ様々な教育活動を展開していきます。

学校では、「子供の言動を決定づけたり、制限したりする教師からの指示は極力控え、たとえ失敗しても子供が自ら判断し、自ら動き出すように意図的に働きかける指導」を積み重ねるよう努めています。

ご家庭では、お子さんが様々な経験ができるよう、支えてほしいと思います。たとえ、それがお子さんにとって苦勞であっても、手や口を出すことをできるだけ控え、温かく見守りながら励ましてあげてください。子供たちの成長を支えることができるように、共に取り組んでいきたいと思っています。

焼津市教育委員会
教育センターみらい
631-4811



※ 6年生のお子さんには学校から学力調査問題等を配付しましたのでご確認ください。